

どき めぐり きたる 土岐・運・来

会報「土岐・運・来」第21号
発行 自然・馬・人の会
発行日 2003年3月16日
只今の会員数 正会員 56家族
協力会員 31家族
賛助会員 1家族

《乗馬会コメント集》2002年11月～2003年1月

書いてみない？話してみない？

目次

- ・わたし進路変更しちゃいました : P.1
- ・乗馬会便り : P.2-3
- ・会員さんに聞きました : P.4



(ボランティア) 小田原市・近藤千恵さん

◆私は、大学の面接試験を目前にしていたときに、進路変更をしました。変更した進路先は馬(乗馬)に関するものです。私が進路変更をしたのには2つの大きな理由があります。

一つは、「本当は何が1番好き？」と聞かれたときに本当は一番馬が好きだということに気がついたからです。たしかに、昔から馬が好きでした。だけど二番目だったのです。

◆それまでは、服飾に関することが、私が一番好きなこととっていました。でも、それはただの意地で無理をして好きだと言っていました。だけど、それに気づいたとき、じゃあ何が自分にとって、一番好きかと考えたときにすぐに馬のことが思い浮かびました。

その時、私は自分の気づかないうちにこんなにも自然に馬に対する感情が生まれていることに気づきました。「あっ、私、馬と関わっていたんだ」と他人ごとのように感じていました。

(笑)

～乗馬会で決心！
**わたし、
進路変更
しちゃいました！**

◆そしてもう一つの理由は、まあ私がずっと抱いていた疑問なのですが、人と馬の関係は古くからあります。なのにもかかわらず、今では馬に触れること、ましてや、乗馬をすることのほうが珍しくなっています。私はそのことにどうしても納得がいかないというか、何と言うか……。とてもわだかまりでした。

そこで、私は、だったら私がその、「人と馬の距離」をうめてやろうと思いました。私は、趣味で乗馬を終わらせたくない、もっとたくさんの人達にも自分のあじわった楽しさを伝えたいと強く思いました。

◆この2つの理由で私は馬の道へ行くことを決めました。私にとって馬はもう、なくてはならない存在です。私は、10月に乗馬のことを勉強する学校に受けました。まだまだ先は長いです。未熟です。だけど、自分の夢の実現のために学べること一つ一つを大切に、これからがんばっていきたいと思います。

(2002年11月寄稿)

馬に対しては視線を外さないんです・・・

小田原市・ゆか(5)とゆかのママさん

この乗馬会に参加するまでは、安心して遊べる場所がなかったのですが、ここに来るとみなさんが見守ってくださるので、子どもから離れて安心して見ていることができますし、ほっとした時間を持つことができます。それに、この場でのみなさんの関わりを、親のいうことより良く聞くんです。乗馬会でやった横座りとかを家に帰ってから、自分でやろうとするんです。この子にこんな積極性があったのかと、意外な発見もあります。この子は、なかなか人と視線が合わせられないんですが、馬が好きだから自分から関わられるんだと思います。

ここに来るようになって、馬にさわったり、人参をあげたりと、できることがひとつずつ増えてきました。朝は機嫌が悪かったのに、馬に乗るたびに笑顔がでてきて、ヘルメットも被れたし、バイバイもできました。今日は、初めて自分で馬に乗ることもできて感動しています。

(聞き取り 村山 11/10)

あっ、こんなこともできるんだ!

小田原市・磯崎怜さん(13)愛さん(12)のお母さん

この会の雰囲気がとても温かくて、とてもいいですね。それにいろいろな配慮があってありがたいです。

怜は自分から気持ちを伝えることをあまりしない子ですが、楽しそうに乗っている様子から、乗馬会に来ることを楽しみにしていることがわかります。それに、乗りながらいろいろな動作をしているのを見て、「あっ、こんなこともできるんだ」という新しい発見があります。乗り終わった後は、所在なげに歩き回っているだけなんですけど、人参をあげて終わりと思っているので、どこにも行かず待っている

ゆかちゃん
自分で
のれたよ

獣医学生
の
発見!

馬に会いにきたつもりが・・・

(ボランティア)横浜市・中島直紀さん
(獣医畜産学部学生)

動物関係の仕事を目指している割に普段ほとんど動物と接していない自分にとってこの乗馬会はたいへん貴重な時間になっています。知識が増えるというだけでなく、自分は本当に動物が(特にウマが!)好きなんだなあという気持ちも改めて思い起こさせられています。

そして、同じようにウマが好きな子供たちがニンジンをつけていたり、笑顔で撫でたりする姿もかわいい!ウマを怖がっているような子供さんが、そ〜っとウマを触って、すぐにお母さんの後ろに隠れてしまうこんな姿も本当にかわいい!馬上で踊るように喜ぶ子供さんなどを見ると、こっちまでうれしくなります。最初は「ウマに会いに行く」という感覚がほとんどだったのですが、こんな子供たちの姿を見られるのも楽しみになりました。ウマを通じて、多くの人たちとも関わることができる、人間味の溢れたとても良い会だと思いました。

いつまでも続いて行って欲しいです。今後、もできるかぎり参加したいと思います。

(2002年11月寄稿)

んです。何か具体的に仕事内容を指示していただければ、お手伝いができると思います。

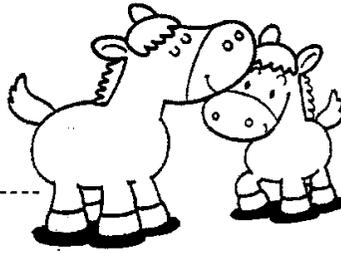
(※補足)怜くんの得意技は『ヒコーキ!』。「はい、怜くんヒコーキ」と言ってあげると、馬上で両手を飛行機の翼のようにパツと広げる。そのままの姿勢で後ろを向いて、しっぽまで手を伸ばす。豪快な動作。得意げな顔。

(聞き取り 村山 11/10)





いつも
馬が恋しくて



和子さん
笑顔が
ステキ...



雨なのに

「小田原いくよ」

横浜市・古谷仁志さん(13) 友香さん(10)の
お母さん

今中学1年生ですが、小学校の2年生の時
から、こちらの乗馬会に来ていました。横浜
からはちょっと遠いので、体力的なこともあ
って一時休んでいたんですが、成長し体力も
ついてきたので、また通い始めました。休ん
でいる間も、2年生の時に撮ったビデオを繰
り返し繰り返し何回も見ていました。カミナ
リが鳴って馬が急に走り出したので、引きつ
った顔をしているのですが、そのビデオが大
好きなんです。

この子は、日にちの感覚をあまり持てませ
んが、小田原の乗馬会は「明日だよ。あさっ
てだよ」と言って待っています。中止になる
ととてもがっかりします。12月に中止にな
ったときも、「小田原行くよ。小田原行くよ」
と言い続けていました。家ではモルモットや
犬を飼っているんですが、さわれないんです。
でも、馬には自分から擦り寄っていきます。
ふわふわとした馬の感覚と動くしっぽが好き
なんです。それに、馬はおとなしくて自分を
乗せてくれるからだと思います。不思議なこ
とに、妹の描いた馬が特に好きで、他の人の
描いたものの中から妹のものを選びます。

馬に乗るだけなら横浜でもできるのですが、
自然に囲まれてのんびりとできるこの場所が
よくて遠くても通っています。子どもたちと
一ヶ月に一度電車に乗って出かけることも楽
しんでいます。 (聞き取り 村山 1/19)

「馬のもつやさしさが テレパシーとなって」

横浜市・阿部和子さん(35)のお母さん

横浜港北区の乗馬会に行っていたのですが、
前田さんに紹介されてここの乗馬会にも来る
ようになりました。

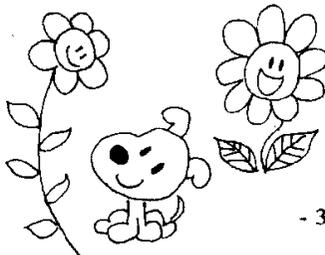
この子は、犬もハトも怖いほど動物が苦手
だったんです。それが初めて馬に乗ったとき、
ボランティアさんがねばり強く関わってくれ
て、5周目で両手をあげたんです。その時、
馬と一体感を持ったようでそれ以来、馬が好
きになったんです。

ここの乗馬会は、いつもボランティアさん
が大勢いてくれて細かくいろいろ指導いた
だけるし、馬もはるばるつれてきてくれて、と
ても楽しめます。スタッフの方々にも、感謝、
感謝だなあと思っています。

きょうは、ポーリングにいく日だったんで
すけど、どちらにするか聞いたら、こちらに
来たいと自分で決めたんです。それと、この
子はいつも右ばかり向いているくせがあるん
ですが、馬が走ると危ないと感じて、姿勢は
悪くてもちゃんと座ってバランスをとって、
走りに自分で合わせようとしています。お馬
さんの力ってすごいなあと思いました。この
子は、言葉がでないんですが、お馬さんに乗
ると自然に笑顔がこぼれるので馬が大好きな
んだなあということがわかります。馬の持つ
ているやさしさがテレパシーになって伝わっ
ているような気がします。乗馬会の日、朝
起きると小田原の方の空を見て、お天気を確
かめています。

私が元気なうちは、せっせつとつれてきた
いと思います。 (聞き取り 村山 1/19)

恰くんの
得意技は
ヒコーキ





《会員紹介コーナー》

ミルキーとハイジの



『会員さんにお聞きしました！』

マラソン・水泳・そして乗馬、
身体で感じる喜び、みんなで共有したいね。
～静岡県長泉町・関根一美さん・恵子さん
陽子ちゃん～

ボランティアと遊んでいる時には、「グルグル回し」とかちょっと激しい遊びが大好き。馬は遠歩(はやあし)で大喜び!そんな陽子ちゃん(9歳)のことをお母さんに伺うと、身体で感じて身体で行動する、『体当たりの陽子ちゃん』の姿が浮かび上がってきました。



—— まずはじめに・・・

陽子は自閉症の中でも『小児期崩壊性症候群』
といって、退行現象がひどく、成人しても知的
には、今と変わらないか、それ以下と言われて
います。認知の面の障害・関係の障害とも言わ
れ、関わりを持つのが不得手ですが、うれしい
こと楽しいことの経験をみんなと共有すること
はできるので、そういった経験をたくさんして
ほしいと思って、乗馬会やその他のサークルに
も参加させているんです。

—— 馬に関わって何か変化は?

はじめは、「メリーゴーランドの木馬も生きて
いる馬も同じ」だったのが、少しずつ生き物
に対する理解ができてきたかな?

特に動物に興味が出て、遠足で動物のふれあ
いコーナーに行ったときには、ヤギにまたがろ
うとして、係の人に止められたりして。

以前は馬の顔をいきなりたたいたり、たてが
みをむしったりしていたのが、最近は優しくな
でながら、しみじみ馬の顔を眺めたり擦ったり
するようになりました。顔をたたくのも、陽子
なりの表現なんですけど・・・。

—— 今、陽子ちゃんが夢中なことは?

11月の学習発表会の練習かな?桃太郎の役で
ローラースケートで登場するもの。

それとマラソンは大好きで学校では毎日楽し
く走っています。去年のマラソン大会では 1.5
キロを約10分で走りましたが、今年は、どう
かな?

そして、年中の頃からずっと続けているのが、
スイミング。毎週土曜日には親子で元気に泳い
でいます。

—— 将来の夢は?

騎乗だけじゃなくて、馬の世話もするなど、
体験の幅を広げていけたらと思います。ただ陽
子の場合、ほんの少しの、本当に small-step の
発達なので、焦らずゆっくり、それこそ私が年
老いて、陽子が成人するくらいまでの長いスパン
でもいいからと思っています。

(2002.11/16 のお母さんの文章を元に坂梨が加
筆、編集いたしました)

「自然・馬・人の会」 会長 桜井 広利

〒250-0045 小田原市城山1-3-22

TEL 0465-32-1308 FAX 0465-32-1332

E-mail na-nhp@wb3.so-net.ne.jp(中村)

ホームページ <http://www2.famille.ne.jp/~luna/horse/>

後援: 小田原市

助成: 子どもゆめ基金

ともしび果実基金

MEIJI コミュニティー基金

